☆中国

合繊生産

中国のポリエステルF生産、世界のミル消費を上回る

このほど、英国のコンサルタント PCI Fibres が出した統計によると 2013 年の中国のポリエステルフィラメントの生産能力は 3,130 万トとなり、世界の同繊維のミル消費量である 2,970 万トを上回ったという。2014 年はさらに 8% 増となり、2015 年までには世界の同繊維のミル消費を 12% 上回ると予測される。今後、中国のポリエステルフィラメントの生産能力は、多くの工場が閉鎖されない限り、今後 10 年間は世界の消費量を上回り続けると予測される。

ナイロンフィラメントについても、中国の生産能力は世界のミル消費量を上回る速度で成長しており、生産設備の増設の伸びが鈍化しない場合、今後 2 年以内に世界のナイロンフィラメント需要の 70% を占める見通し。

世界の繊維のミル消費量は、前年度から 4% 増の 8,340 万トで、2014 年はさらに 4% 増の 8,680 万トとなる見込み。この内、綿花、羊毛、セルロース繊維などの天然繊維は 35% を占める。

☆オーストリア

経営

Lenzing、2013 年は減収減益

オーストリアのセルロース繊維メーカーの大手 Lenzing が 2013 年の業績を発表した。世界的に繊維価格が非常に低迷している中、同社の製品需要は堅調を維持し、出荷も非常に好調で設備をフル稼働状態であったという。

2013 年の連結売上は、前年比 8.7% 減の 19.08 億ユーロとなった。これは繊維価格が前年比 13% 減の 1.7 ユーロ/キロに下落したことやプラスチック事業の売却、更に Paskov パルプ工場の生産を紙から溶解パルプへと完全転換したことなどが原因である。

2013 年の税引前利益 (EBIT) は 2012 年の 2 億 3,150 万ユーロから 8,640 万ユーロに、利益率は 2012 年の 11.1% から 4.5% へと共に減少した。

こうした減収減益は、グローバル市場でレーヨン価格が低迷したこと、綿花の高い在庫率と中国のレーヨン生産の設備能力過剰などが挙げられる。

資産額は 24.4 億ユーロとなり、前年の 26.3 億ユーロを下回った。これは主に、現在の投資プロジェクトの実行が原因。主な投資プロジェクト

は、TENCEL 工場の新設、Lenzing 工場内のインフラ投資、Paskov パルプ工場の転換プロジェクト等であった。

同社は現在、①包括的コスト最適化プログラムの実施、②特殊繊維に焦点を合わせたマーケティング、などを実行している。

① 包括的コスト最適化プログラム

Lenzing は包括的コスト最適化プログラムの実施により 2013 年は 6,000 万ユーロの削減に成功した。削減額の 3 分の 2 は原料費、間接費の削減、運用の効率化により達成、残りの 3 分の 1 は人件費の削減による。

② 特殊繊維のプロモーション

Lenzing は 2015 年もこの厳しい市況が続くとみており、2013 年、全体の売上に占める特殊繊維のシェア拡大に焦点を当てた。価格を定番品よりも 5% 高いプレミア価格で設定し、続くプロモーション活動により *TENCEL* と *Modal* の市場拡大を図った結果、2013 年の繊維売上は前年比 10% 増の 89 万トと過去最高となった。しかし、これ以上のレーヨン繊維への増資は行わない予定であり、今後は Lenzing の *TENCEL* 工場の増設を計画しており、インドでのレーヨン設備建設プロジェクトも延期となった。

(以上)